

# G'DAY

## WESTERN AUSTRALIA

ひとめでわかる 西 オーストラリアの魅力

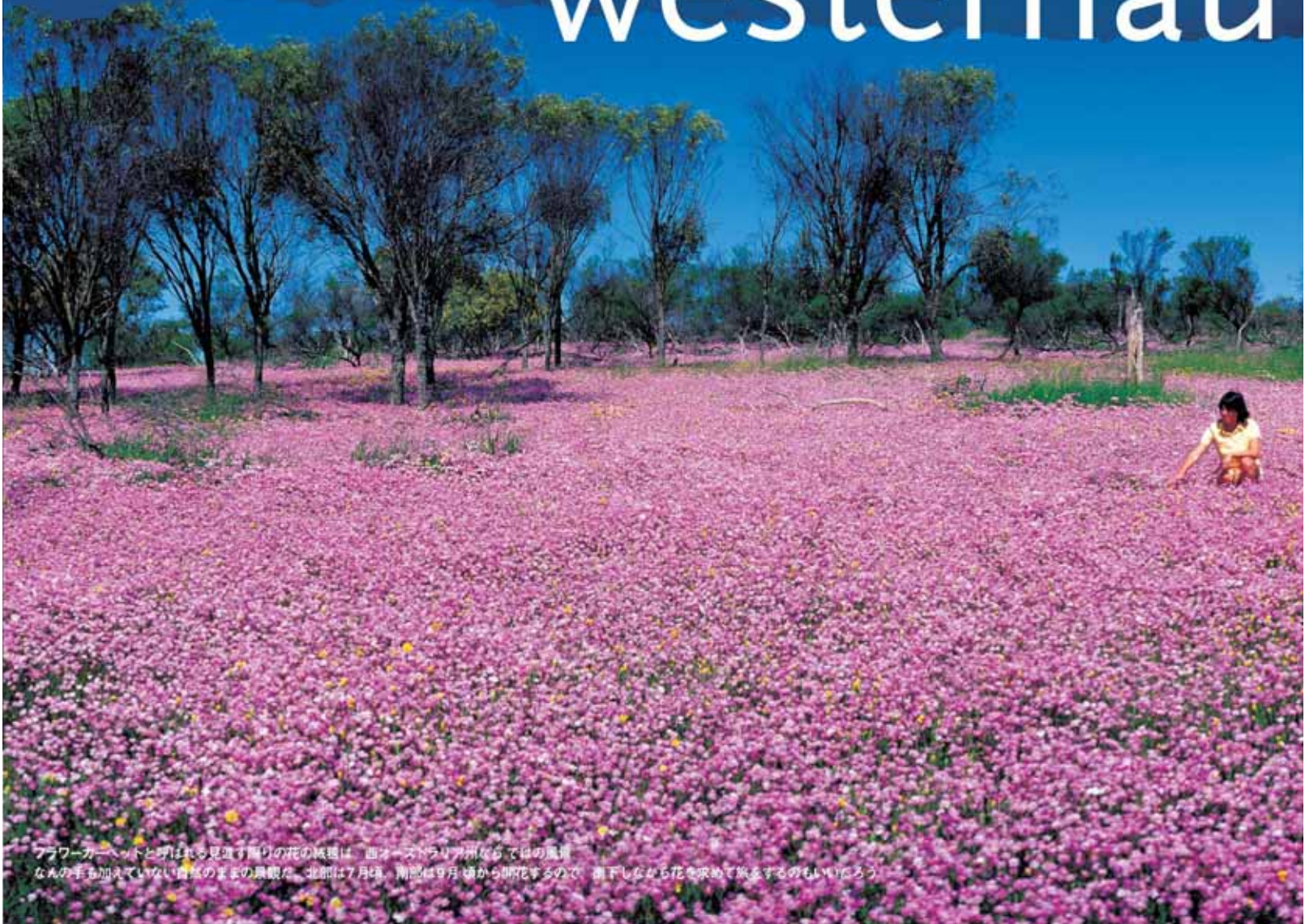
美と癒しならいくらでも。



ニンガルーリーフは、全長260キロにも及ぶサンゴ礁。3月～5月には膨大なサンゴの産卵を狙ってジンベイザメがやってくる。巨体だが大人しいジンベイザメと泳ぐのは、世界中のダイバーのあこがれだ。



# westernau



フラワーヘッドと呼ばれる見渡す限りの花の絨毯は、西オーストラリア州ならではの風景。なんの手も加えていない自然のままの景観だ。北部は7月頃、南部は9月頃から開花するので、南下しながら花を求めて旅するのもいいだろう。

夕日が美しいブルームの海岸をゆったり進むラクダの行進。かつて内陸部の交通手段として重宝されたラクダは今、旅行者をのせてビーチを歩く。ブルーム名物のキャメルライドは、サンセットの時間がおすすめです。

オーストラリア

stralia.com

西側の魅力

青い海に寄り添うシェルビーチ。その名の通り、白い砂浜は実は小指の爪ほどの小さな貝殻でできている。長い時間と自然のいたずらが創りだしたビーチは、世界自然遺産シャーク・ベイに一角にひっそりある。

おはよう。  
おはよう。  
おはよう。  
おはよう。

ここに来たの  
赤と白も  
赤か白か  
はわからない  
です。



### ワイナリーで夢心地

西オーストラリア州では、なぜか皆ワイン通になる。きっと、生活にワインが欠かせないオージーの影響だろう。州で最も古いワインの産地スワン・バレーでは、ワイン三昧のリバー・クルーズがおすすめ。マーガレット・トリバーでは、ぜひ宿泊を。

### 見渡す限りの花の絨毯

外に大きな絨毯が...と思ったら、それは花だった、というのは嘘のような本当の話。大地に咲く野生の花、ワイルドフラワーは、州が誇る観光ポイント。ユニークな形の鮮やかな色の花々が、8〜11月にかけて咲き乱れる。

### 自然のダイナミズムを実感

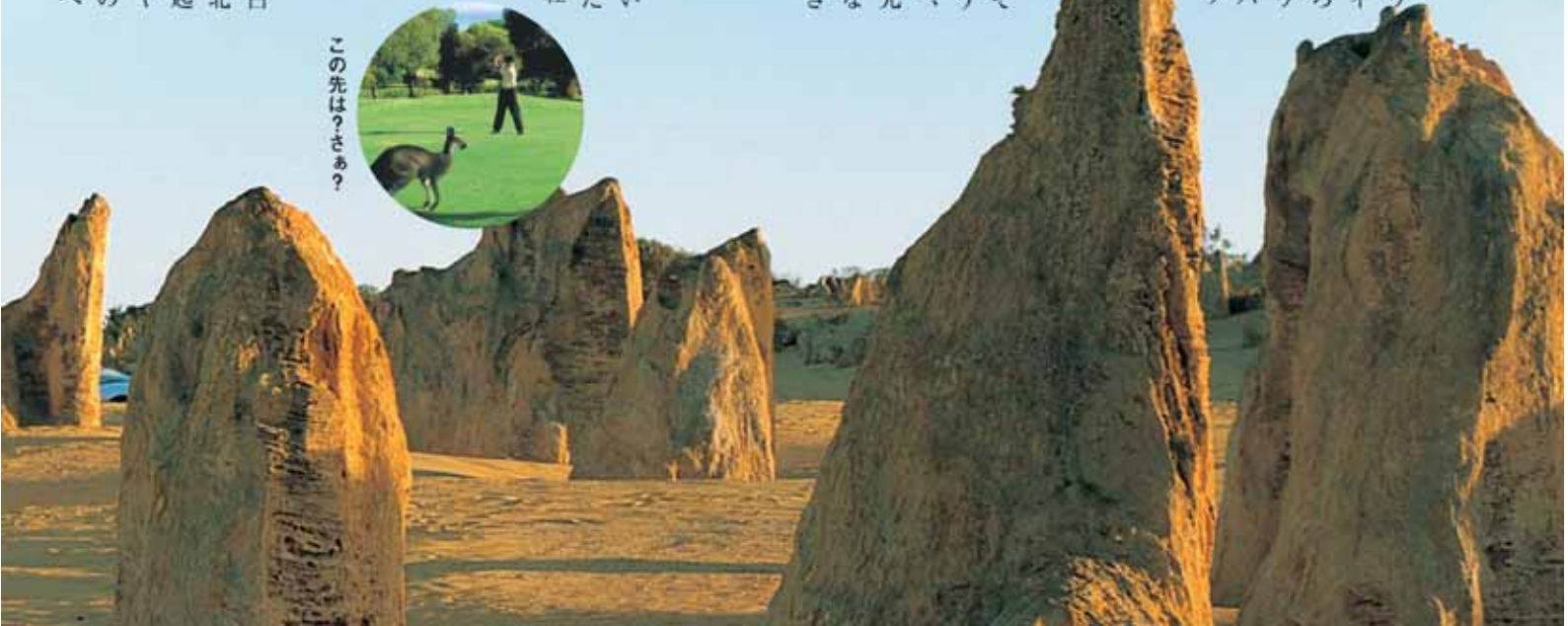
本物のアドベンチャー体験がしたいなら、パースから1400キロ離れたカリジニ国立公園がいいだろう。壮大な渓谷や自然のプール、迫力の滝が点在するこの地へは、本格的な装備で。さまざまな野生動物との遭遇も期待できる。

### 砂丘でジェットコースター

かつての海底は、長い年月を経て白い砂丘になった。それがパースの北150キロのランセリン砂丘だ。起伏のある白い砂漠を、大きなタイヤをつけた大型4WDで駆け抜けるのが人気。荒野の幕標、ピナクルズへ行く途中にぜひ寄りたい。



この先は？さあ？



ホントにおどろいよ。



### 原始の地球を創った太古の生物

干潮時に水中から頭をのぞかせる岩の正体は？ これは、地球の酸素形成の起源とされる藻の一種、ストロマトライト。世界自然遺産に登録されているシャーク・ベイのハメリンプールに棲息している。まさに原始の海の神秘。

### ラクダ？ そのわけは…

夕日の美しさで有名なブルームのケープ・ピーチに、なぜかラクダの行進が…。これは夢でも幻でもなく、ブルーム名物のキャメル・ライド（ラクダ乗り）。その昔、内陸部で交通手段として重宝されていたラクダたちの、今のお仕事だ。

バオバブの木



### 西オーストラリア州

## 夢と奇跡。美と癒しのご紹介。

いわゆるオーストラリアのイメージを心地よく裏切ってくれるのが、西オーストラリア州かもしれない。雄大を通り越し、飲み込まれんばかりの壮絶な風景に出会い、人と動物と植物が風景の中に溶け込むナチュラルな空気に身を置くと、いつしか自分自身と静かに向き合っていたりする。人の本来あるべき姿がわかる、そんな気にさせてくれる西オーストラリア州は、旅以上の何かをくれる場所だ。



シドニーの海  
オーストラリアの海  
オーストラリアの海  
オーストラリアの海  
オーストラリアの海



australia.com

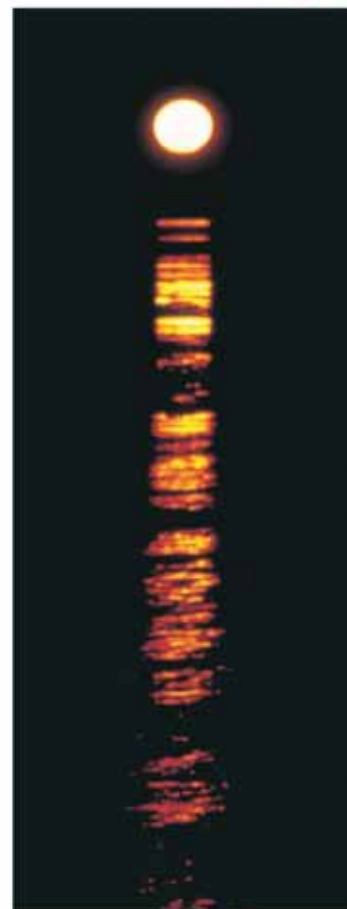
フリーマンは  
2007年の街並みに  
素朴なカネや  
楽しいアートの街  
ここに来ると心は  
癒される。



島の南東に  
ロケット島には  
クオッカが  
たくさんいます。



明治時代に  
真珠湾の島に  
日本人が  
移住した。



**人柄が長けている街**  
初めて来た街なのになんとなく落ち着く、それがパースやフリーマントルを訪れた人の多くの感想だ。150万人もの都市なのに、澄んだ空と眩しい緑、スワン川の流れが心地いい。こんな所に生きていると、人は皆あたたかくなるようだ。

**地球が見せてくれた素顔**  
まさに「秘境」といえる州北部のパヌル国立公園。中でも、幾重にも連なる岩山の群れバングル・バングルは、世界でも類をみない景観を形作っている。地面が隆起・侵食を繰り返してできたものだが、もしかしたらこれが地球の素顔かも。

**クオッカのいる島へ**  
日常からワープしたいと思ったら、アイランド・トリップはいかが？ パースの沖合に浮かぶリゾートアイランド、ロケット島は、船でわずか30分。エメラルドグリーンに海に潜ったり、自転車で島を巡ったり、自然に包まれてリフレッシュを。

**月への階段**  
3〜10月の満月の夜、月の光が反射して、海原に光の芸術を描き出す。これは、通称、月への階段といわれる神秘的な自然現象。インド洋に面した北端の町ブルームの南、ローバック湾がその舞台。チャンスは、各月の満月の3日間だけ。



先住民アボリジニの壁画、レントゲン画法

western





大好きかな。



オーストラリアの  
マイアビーチで  
とれた魚の尾。



### 森のエネルギーを浴びて

ハイキングの目的は、自然の中に溶け込んでそのパワーをもらおうこと。パースの南東200キロにあるピブルマン・トラックなら、歩きながらたっぷり森林浴が楽しめる。本格派はキャンプをしながら2、3泊、初心者なら日帰りコースにトライ。

### 浜辺に敷き詰められた貝殻

青い海には白い砂浜がよく似合う。でもよく見ると、この砂は小指の爪ほどの白い貝殻だ。名前の通り、シエルビーチは目に染み渡るほど白い貝の浜。風や温度、水深など、自然のいたずらで生まれビーチは、シヤーク・ベイの一角に実在する。

### 誰が作ったの？ この彫刻

サーフィンでもしたくなるような見事な波。これが岩だなんて。何をどうしたらこんな形になるのか、実に不思議だ。ウエアロックは、高さ約15メートル、長さ約100メートルの自然の芸術作品。岩肌は時折、幾重にも色を変えするという。

### イルカと遊ぶ日

インド洋に面した長い海岸線は、ドルフィンコーストと呼ばれている。その名の通り、野生のイルカが数多く生息しており、モンキーマイアには毎日ビーチにイルカがやってくる。海に出れば、イルカはもちろん、ジュゴンにも会うことも。



「荒野の墓標」とも呼ばれる砂漠に大小さまざまな岩の塔が立つピナクルズ。自然が削り出した神秘的な風景は、時間とともにその表情を変えていく。夕日に映えるピナクルズは必見。



# G'DAY

## WESTERN AUSTRALIA

ひとめでわかる  オーストラリアの魅力

夢と奇跡ならいくらでも。

